

情報科学域博士課程カリキュラムツリー

指導教授のもと、各自の研究課題の解決を通じて高度な研究遂行能力を養う。

指導教授のもと、博士前期課程での研究成果を踏まえ、さらに高度で専門的な研究を行う。

博士前期課程科目

自然言語処理特論	情報可視化システム特論
データ工学特論	時空間情報処理特論
HCI 特論	知能情報処理特論
データ統計解析学特論	認知科学特論
バーチャルリアリティ特論	
情報ネットワーク科学特論	情報ネットワーク品質特論
音声情報処理特論	音響信号処理特論
情報科学特論1	情報科学特論2
情報科学特別研究(M) I~IV	

博士後期課程科目

情報科学特別講義	
情報科学特別研究(D) I~VI	

研究の過程では、国内外の学会での成果発表や、学術誌への論文投稿を通して、プレゼンテーション能力も修得する。

研究の成果を国内外の学会や研究会で発表してディスカッションを行い、さらに学術誌・専門誌へ投稿するといった経験を、研究の進捗に応じて多数回積み重ねることで、研究を効率的に深化させていく方法論を学ぶとともに、研究成果を効果的に公表・後悔することの重要性やそのための技術を修得する。

共通科目

システムデザイン特論I~V	インターンシップ
研究プロジェクト演習(1)~(5)	

修士1年

修士2年

博士1年

博士2年

博士3年